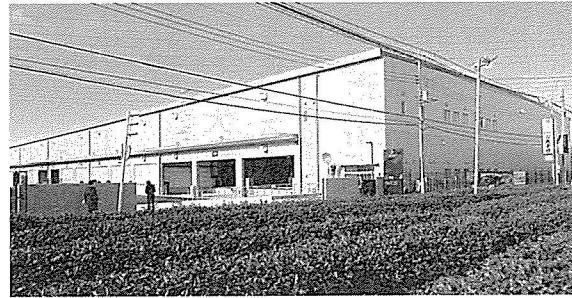


「(仮称)ロジポート川越西」が竣工 新日鉄住金ENのスタンパッケージRを採用 アンボンドブレースで鋼重量削減

山日高ICまで約2・6km、
関越自動車道・川越ICま

ラサール
不動産投資
顧問が組成
した狭山日
高プロパテ
イー特定目
的会社が建
設を進めて
いた物流施
設「(仮
称)ロジポ
ート川越
西」が竣工
した。
同施設は、
圏央道・狭



「(仮称)ロジポート川越西」外観

で約3・8kmに位置する日
高市大字下大谷沢字宮ノ前
に建設されたマルチテナン
ト型物流施設。規模はS造

2階建、延床面積2万37
56平方メートルで、今回、新日
鉄住金エンジニアリングの
システム建築商品「スタン
パッケージR」を採用。
設計・施工はスタンビル
ディング会のサンエス建
設が担当している。鉄骨
重量は約1700トで、
鉄骨製作は栃木県のHグ
レードファブ、ニッコー
が行っている。
スタンパッケージRは、
高品質を短工期でリーズ
ナブルな価格を実現する
システム建築で、年間1
80棟近く施工実績をあ
げている。従来、平屋で

延床面積20000〜300
0平方メートルが主な対象だつた
が、今回は、2階建にスタ
ンパッケージRと、同社の
耐震・制振部材「アンボン
ドブレース」を組み合わせ
て施工した。1階部分にア
ンボンドブレース28組・56
本を最適配置することによ
り、1階は400mm、2階

は200mmというコンパク
トな柱を実現している。こ
のため、従来システムと比
べて鋼重量10〜15%削減す
ることができたという。

これにより、延床面積1
万5000〜3万平方メートル
の2階建物流案件でも標準化
を徹底追求した設計手法お
よびアンボンドブレースな
どによる新たな構造設計方
法とスタンパッケージRが
融合することで、短工期で
経済的な効果をあげた。
同社では今後、2階建物
流施設案件などを新たなタ
ーゲットする「新システム
建築事業」の取り組みを強
化していく。第1弾として、
専門チームを立ち上げた。